

2021（令和3）年度

大田区家庭・地域教育力向上支援事業の記録



大田区教育委員会

※新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、実施しました。

1. 子供の部屋 学びの実践の会

健やかな育ちのために ～コロナ禍・ワクチン・病気とどう向き合うか？～

<内容>

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経験したことのない不安な毎日過ごす今どんな未来を子どもたちへ手渡していくべきなのか、多くの情報が溢れる中、本当に必要な知恵って何？ワクチンって必要なの？自然治癒力や免疫力を高めるためにはどうしたらいいのか学ぶ。

<参加者の感想>

- ・普段の生活を整えて、菌やウイルスと仲良くできる身体づくりをしていこうと思います。
- ・これから生きていく子供たちを情報や周りの雰囲気になら流されず、守っていきたいと思いました。
- ・ワクチンに対する別の見方を知ることができてよかった。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	6月19日(土) 10:30~12:30	健やかな育ちのために ～コロナ禍・ワクチン・病気とどう向き合うか？～ 講師 高野 弘之 (小児科医師)
	子供の部屋保育園	参加者数 22名 (内訳) 会員 5名 ・ 会員以外 17名

2. 大田区立高畑小学校 PTA

成長過程による思春期の子供の特性と親子の関わり方

<内容>

思春期の特徴を知って、子供の主体性を引き出すコミュニケーションを学ぶ。コロナ禍で一緒に過ごす時間が増える中、子供との距離感に悩むことも増えている。子も親も成長できるようなコミュニケーションを考える。

<参加者の感想>

- ・普段から NG ワードを使ってしまっているなど気づいた。
- ・褒めポイントをうまく探して実践したい。
- ・子供からの非言語情報をキャッチする努力は毎日忙しい日々で疎かになっていた。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	12月11日(土) 14:00～14:45	成長過程による思春期の子供の特性と親子の関わり方 講師 石橋 麻衣子(高畑小学校スクールカウンセラー)
	高畑小学校 体育館	参加者数 74名 (内訳) 会員 73名・会員以外 1名

3. おおた子育て親育ての会

「赤ちゃんはどこから？」と訊かれたら～幼少期の子どもに伝える性のおはなしを学ぼう～

<内容>

「赤ちゃんはどこから生まれてくるの？」と幼少期の子どもの聞かれたときに、どのように伝えたらよいかを学ぶ。助産師の講師による、自分のからだと性を大切にするための「子どもに語りかける性のおはなし」を通して、子どもとの信頼関係づくりの重要性を学ぶ。

<参加者の感想>

- ・「性教育」というと難しくとらえがちでしたが、「命の安全教育」という観点からだと話しやすかったです。また、子ども達にどんな風に伝えていけばいいか、イメージできたことがよかったです。
- ・大人も恥ずかしながら知らないことばかりでしっかりと学ばせていただきました。
- ・家で性の話をしたことがなく、こどもにむけての話も一緒にきけたことでよいきっかけになりました。親の心構え、対応の仕方などもとても勉強になりました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	3月21日(月) 13:30～16:00	「赤ちゃんはどこから？」と訊かれたら 講師 土屋 麻由美(助産師)
	入新井集会室	参加者数 34名 (内訳) 会員 0名・会員以外 34名